

プレスリリース（2010年12月16日）

DKSH ジャパンとミクロン・マシニングが 日本国内のマシニング事業の譲渡に合意 2011年1月から DKSH ジャパンとして活動

DKSH ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長 ヨルグ・ヴォレ）と、機械加工ソリューションプロバイダーであるミクロン・マシニング（本社：スイス・アンニョ）は、日本におけるミクロン・マシニング事業を DKSH ジャパンに譲渡する契約を締結しました。2011年1月1日より、営業、販売、アフターサービス等は全て DKSH ジャパンによって行われます。

今回の事業譲渡は、30年にわたり国内の自動車、医療機器、電子機器、筆記具業界で導入されてきたミクロン・マシニングの高品質のトランスファーマシン・システムを、DKSH ジャパンの市場開拓能力を活かして、幅広い国内製造業の企業への一層の導入を目指したものです。

DKSH ジャパンは、本事業の獲得により日本市場における基盤の強化、相乗効果による売上拡大を図ります。また、DKSH ジャパンが国内でのマーケティング、販売、プロジェクト管理、アフターサービスを実施することで、ミクロン・マシニング本社に対して日本市場でのビジネスを拡大するマーケットエクспанションサービスを提供することになります。

2011年1月1日より DKSH ジャパンの本社に専任スタッフを配置し、これまで株式会社ミクロン東京が行っていたミクロン・マシニングの活動を引き継ぎます。新しい連絡先は下記のとおりです。

DKSH ジャパン株式会社
テクノロジー事業部門
〒108-8360
東京都港区三田 3-4-19
電話 03-5730-7627（ダイヤルイン）

ミクロン・マシニングについて

ミクロン・マシニングは、複雑な高精度金属部品を製造する高生産性機械加工ソリューションの大手プロバイダーです。特殊な高精度・大量生産のための機械加工システムや切削工具を全世界に供給し、各業界を代表する顧客企業が生産工程の新しいスタンダードを確立するのを支援してきました。ミクロン・マシニングは、顧客企業が起こしたイノベーションの商業化を可能にし、これまでに多数の企業が業界リーダーへと成長していきました。

ミクロン・マシニングは、スイスのアンニョに本社を置き、アンニョとドイツのロットヴァイルにある2つのエンジニアリング・生産拠点において約500人の社員を雇用しています。ミクロン・マシニングは、チューリッヒのスイス証券取引所に上場するスイス・ミクロン・グループ（ISIN: CH0003390066）の一部門です。顧客には、自動車、時計、筆記具、電子部品、製薬、医療産業をリードする大手企業が多数含まれています。

DKSH ジャパンについて

2009年4月に社名を日本シイベルヘグナーからDKSH ジャパンに改め、スイスに本社を置くDKSHグループの一員として、またアジアに焦点を当てたマーケットエクспанションサービスのリーディングカンパニーとして、消費財、生産資材、テクノロジーの3つの事業部門がビジネスを展開しています。

テクノロジー事業部門では、4つの主要ビジネスライン（各種産業機械・工作機械、ハイテク機器、消耗品、特殊金属）を中心に、欧米およびアジアの一流メーカーの最先端テクノロジーを幅広くご提供するとともに、質の高いアフターサービスをお届けしています。

DKSH ジャパンは、日本における最初の外資系商社の一つとして1865年（慶応元年）に横浜で創業した「シイベル・ブレンワルド商会」を継承し、以来140年以上にわたって、日本とその文化に貢献してきました。当時「横浜甲90番館」と呼ばれた商館は日本の生糸取引の中心となり「生糸王国日本」を築きあげる上で大きな役割を果たしました。また、日本最初のガス灯のためのガスプラント設置にも貢献し、明治中期には時計・機械などの輸入を開始するなど、日本に根ざしたスイス系商社として多くの足跡を残してきました。

本件に関するお問合せ：

DKSH ジャパン株式会社

広報担当

長谷川崇／三井香織

〒108-8360

東京都港区三田 3-4-19

Phone 03-5730-7342 Fax 03-5730-7333

www.dksh.jp